



第18号

社会福祉法人

おお み し ま い く と く か い

大三島育徳会

広報誌



社会福祉法人

大三島育徳会

発行日 2023 (令和5) 年 5月31日
〒157-0077 世田谷区鎌田 3-16-6
TEL 03-5491-0340
FAX 03-5491-0343
<https://www.oomishima.jp/>

せせらぎ



令和5年度入社式集合写真 (p.8に関連記事)

令和5年度ご挨拶

理事長 田中雅英



入社式の日、正面玄関前にあるシンボルツリーの紅枝垂れ桜が満開でした。京都の円山公園にある名高い「藤右衛門桜」と同じ種類です。近年は、4月前に散ってしまうことが多かったです。幸い、今年は桜が開花を少し遅らせてくれました。久しぶりに満開の桜を背景に、入社式に参加した職員と一緒に写真をとることができました。芭蕉の俳句に「さまざまなこと思い出す桜かな」があります。皆さまは桜を見ると何を思い出すでしょうか。私は小・中学校時代を思い出します。9年間通った、世田谷区内の小・中学校と中学校の校門前には多摩川の支流である呑川のみがわが流れていました。その川沿いに桜並木が続いていました。毎年、散った桜の花びらが水面を埋め尽くして流れていくのを見るのが楽しみでした。言葉では言い表せない美しさです。そのころは花筏いかだという言葉は知りませんでした。

もう一つ、西行法師が詠んだ和歌が心に残っています。「願はくは花の下にて春死なむそのきさらぎの望月のころ」です。お釈迦様の命日に重ねた一首だそうです。西行は願った通り、10年後に桜が咲くきさらぎ(旧暦2月16日)の望月(満月)のころに亡くなりました。(新暦では3月中旬) ひたすらに強く願う気持ちにお釈迦さまが動かされて、望みをかなえたのでしょうか。「念ずれば通ず」。なにか胸に迫るものがあります。

私にも強く願うことがあります。法人が実施する事業に対し、地域からご理解と信頼を得ることです。達成できればこんなうれしいことはありません。今後も法人と職員とが一体となって「地域に根ざした社会福祉の実践」を重ねていきます。

散ってもなお美しい花びらを見て一句。

花筏 名残をのせて 流れ行く

統括本部副本部長 就任挨拶

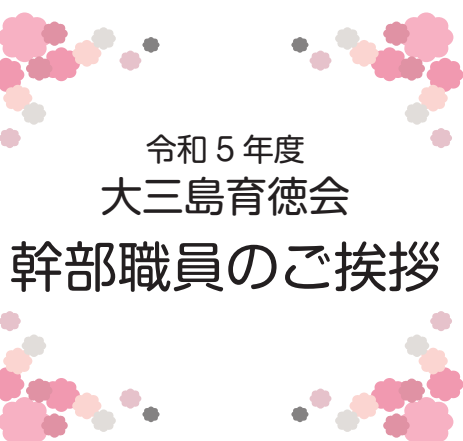
佐藤 朋巳



日頃より法人施設ご利用者をはじめご家族、地域の皆さま、その他多くの方々に温かいご支援とご協力をいただき、心よりお礼と感謝を申し上げます。この度、令和5年4月1日付で統括本部副本部長を拝命しました佐藤と申します。今までは、高齢者支援局の在宅サービス部長兼人材対策室長兼博水の郷副施設長として勤務させて頂いておりました。全くの未経験で別業界から福祉の世界に飛び込んではや20年近くの年月が経ち、これまでに多くのご利用者や先輩方から色々なことを学ばせて頂きました。振り返ってみると多くの方々に支えられての今日だと思っています。時代の変遷に伴って改正される法

律や制度、多様化するニーズ等に対応して施設を拡充するなどがありました。今後更なる発展に向けた一翼を担う機会をいただいたことに對しまして、責任の重さを実感しています。私自身、学生時代はアメリカンフットボールに打ち込んでおりました。アメリカンフットボールで培った気合とチームワークを大切にしていきたいと思っています。

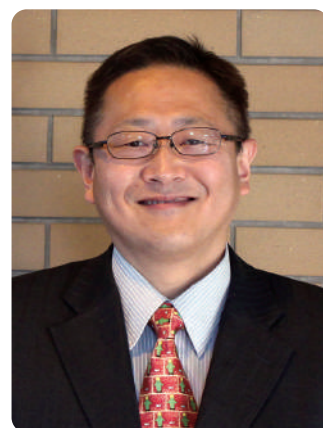
今後とも、ご利用者の皆さま一人ひとりが生き生きと、安心、安全に、そして笑顔溢れる生活を送ることができるよう、微力ですが職務に精励してまいりたいと存じますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年度 大三島育徳会 幹部職員のご挨拶

法人事務局長 就任挨拶

川道 英弘



この度、新たに組織化された「法人事務局」の局長を仰せつかりました川道英弘です。どうぞよろしくお願い致します。

私が法人で働き始めた頃は運営する事業所も「博水の郷」だけで、職員も60名をちょっと超えるくらいでした。そのため現場職員と事務職員との垣根も低く、食事介助、見守り、通院の付き添いなど、通常であれば事務職員がしないような業務も当然のように行っていました。かくいう私も就業当初は食事介助や通院などとして現場職員のお手伝いをしていました。しかし20年を経た今では、現場と事務で業務も明確に分かれ、それぞれがスペシャリストとして就業しています。

現在法人は10拠点16事業を数えるまでになり、職員数も190名を超えるほどになりました。法人がここまで大きくなったのも、ひとえに最前線で日夜休みなく働いてくれている現場職員の頑張りがあったからにはなりません。

しかしながらその現場職員を裏から支えている存在として事務職員がいることも忘れてほしくはありません。事務職員は、「縁の下力持ち」として日々頑張っていると、法人や事業所に関わる皆さまと最初に相対する「法人の顔」として日々自分を磨いています。

法人運営は現場職員だけでも、また事務職員だけでも成り立ちません。それぞれがそれぞれを認め合い、助け合い、尊重し合うことが重要だと考えます。「切磋琢磨」。この言葉のように、同じ法人に属する仲間として、互いに励ましあって鍛錬や修行をして、技量を高め合うことによりそれぞれが成長していく。これによって法人も一緒に成長すると考えます。

このことを肝に銘じて、法人事務局職員一同、一丸となって頑張ります。皆さま宜しくお願い致します。

障害者支援局長

就任挨拶

竹中 毅



竹中毅と申します。令和5年4月、

私は障害者支援局長に就任いたしました。玉川福祉作業所・等々力分場の施設長を兼任します。二つの作業所の他に「ホームいろえんぴつ」「相談支援センターフォルテ」「かふえいろどり」などの事業所を統括します。皆さまとともに「世田谷区の地域共生社会づくり」に向けた課題に取り組み機会をいただき、たいへん光栄に思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

玉川福祉作業所は、本法人の指定管理となり18年目を迎えました。これもひとえに、利用者、保護者、地域の皆さまのご支援、ご協力の賜物と心より感謝いたします。

私たちは「利用者・保護者が住み

慣れた地域で安心して暮らし続ける

ために、地域の「障害理解の促進」に努めています。そのためには、地域の皆さまに、障害がある人や保護者が感じている不利益を知っていただくことが重要になります。第一歩は、利用者と住民との「出会い」の機会をつくることではないかと考えています。たとえば、利用者の作品・製品を紹介すること、散歩や公園清掃の時にあいさつすること、町会や商店会の行事に参加することなどです。

令和8年には、上用賀6丁目に「(仮称)カミロックス」と命名した障害者の複合施設の経営を始めます。グループホーム2ユニット20床、シヨーステイ2床、生活介護定員30人、相談支援事業所などです。カフェや多目的ホールを併設し地域交流を図る計画です。

今後とも障害者支援局が一体となって障害者支援に尽力することをお約束いたします。皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



障害者支援局長退任・

統括本部付参与 就任挨拶

橋本 睦子



3月末日をもって障害者支援局長、および玉川福祉作業所施設長を退任いたしました。

当法人で障害者支援に携わって7年間、いつも学びの日々でした。利用者一人ひとりを理解すること、そして向き合うこと、保護者の想いを知ること等々。利用者の現実を知ることからのスタートでした。また作業所という日中活動のみならず、相談支援センターフォルテ、グループホームいろえんぴつにも関わられたことは、利用者を理解するうえで大きかったです。利用者の生活を「支える」人やサービスが増えることが自立につながるということを実感できました。

悩み多く濃い時間でしたが、そんな中で利用者の「元氣なあいさつと明るさ」に癒されました。職員間で一日を振り返る時間も貴重で、その熱心さに感心しました。

また「かふえいろどり」の開設準備のために、喫茶についてにわか勉強したことは、楽しい思い出です。保護者はじめ関係者の皆さまには、大変お世話になり、ここから感謝申し上げます。

また退任にあたっては、利用者一人一人からお花をいただき感激いたしました。

さて4月から「参与」という法人初の役職をいただきました。職員には「どう呼んだらよいのだろう」と戸惑いの声がありましたが、早1か月がたち、参与と呼ばれることにも慣れてきました。

まずは、新しい障害者支援局体制のため尽力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



日本全国 出身地紹介 職員の… お国自慢

第9回 神奈川県

法人職員の出身地を、地元の暮らし、お勧めの食べ物、子供の頃のエピソードなどと共に紹介する連載コーナーです。



等々力緑地

川崎市 中原区

博水の郷 ショートステイリーダー 岡野谷 智子

私が生まれ育った町は川崎市中原区です。

昔は工業地と言われていた武蔵小杉ですが、今となってはタワーマンションが数多くあり、交通の便も良くなりました。最近知ったのですが、武蔵小杉駅から新横浜駅まで10分程で行けるようになりました。今までは乗り換えをしていたのが直通で行けます。新幹線で旅行するには便利になりました。とはいえ、中原区は発展した武蔵小杉だけではなく、自然にも恵まれた場所でもあります。

等々力緑地をご存じでしょうか。釣池、公園、ふるさとの森、市民ミュージアム、競技場と1日中遊べる場所です。私も小さい頃は友人と遊んだり、お花見をしたりと、よく遊びに行っていました。成人式も緑地内にある「とどろきアリーナ」で行いました。私はサッカーに詳しくはないのですが、川崎フロンターレの拠点でもあるそうです。試合の時は、近隣の駅でユニフォームを着たファンを多く見かけます。

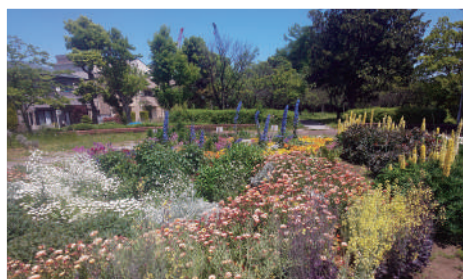


等々力緑地のそばには多摩川があります。中学生の時は学校行事でマラソン大会を行っていました。女子は3キロです。学校から多摩川まで歩き、マラソンをしてまた学校に帰ると汗だくな1日でした。3年間で順位が上がったことだけは覚えています。そして、夏の風物詩多摩川の花火大会。今は博水の郷から見えるため、ご利用者と一緒に観賞することが多いですが、小さい時は川崎市から鑑賞していました。

他にも二ヶ領用水やせせらぎ遊歩道、大小多くの公園もあります。二ヶ領用水は通勤経路でもあります。四季折々の花が咲いているので、それを見ながら通勤しています。商店街も多くあり、住みやすい街だと思っています。博水の郷からもそれほど遠くはないので、立ち寄ってみてください。



釣池



なかはらのまちを花いっぱい



▲塔ノ岳
霧の登山道

▶七里ヶ浜
夕焼け



川崎市 麻生区

法人事務部 総務課 岸田 祐貴

こんにちは！私の出身は川崎市麻生区なのですが、新宿に遊びに出たりすることが多いため、今回は私が生まれ育った神奈川県の魅力についてご紹介します。

皆さまは、神奈川県と聞いて何を思い浮かべるでしょうか？中華街や綺麗な町並みと海、色々な施設で楽しい時間を過ごせる横浜。温泉や自然に触れて、ゆったりとした時間を過ごすことのできる箱根、湯河原。歴史を肌で感じ、隠れた名店を探して散策する鎌倉。ドライブやツーリング好き必見！清川村の宮ヶ瀬ダム。素晴らしい海で水族館が楽しめ、名物のしらす丼や浜焼きが最高な江ノ島。ここで紹介できるのは神奈川県の魅力のほんの一部にすぎませんが、どこへ行こうともきっと素晴らしい思い出になる。それが神奈川県の魅力だと、私は思っています。

さて、神奈川県で生まれ育つこと二十幾年、まだまだ生まれて間もない私が本気で紹介できる神奈川県とはなにか。悩みに悩んでこれまでを振り返った時、印象深い思い出の中には必ずしも神奈川県がなかったことに気付きました。コーヒーを飲みながら、友人たちと日の出を見た七里ヶ浜の海岸。大雪で車が動かず、到着が深夜になっても温かい食事を出迎えてくれた箱根の旅館の方々。真夏に霧の出る中、やっとの思いで登頂し絶景に感動した表丹沢の塔ノ岳。ライトアップされた桜が忘れられず、春には必ず行きたくの小田原城址公園。観光名所の案内や神奈川県の名産品の紹介などでは一切ありませんが、神奈川県で生まれ、神奈川県で育った私だからこそ体験することのできた大切な思い出の数々です。

この記事を読んでくださっている皆さまにも、神奈川県で何か一つ、ずっと思い出したくなるような素敵な思い出ができたらいいいと思います。ぜひ、神奈川県を楽しんでいってください！

川崎市 高津区

玉川福祉作業所 支援員 越光 真奈美

神奈川県といえば…いろんな観光地があります。横浜、箱根、江の島、三浦…魅力的なところが沢山ありますね。

神奈川県を形で例えると…犬だったりラクダだったり。と検索結果で出ます。確かに見えなくないか。(笑) 私はラクダに例えると顔の部分の川崎市生まれ、川崎市育ちです。川崎は都心にも出やすく、交通の便のいいところだなと思います。最近は都心に近く通いやすいということでベットタウンとして人気のようです。そんな川崎市と東京の間に流れている多摩川。昔はとても汚いイメージでしたが、最近はとてもきれいになり、SUP やカヤックなどの川遊びができるようになりました。私も SUP をしたことがあります。水がとてもきれいになっていることにビックリしました！！

私は走るのが好きで、多摩川の河川敷を友達やランニング仲間と走ることがあります。河川敷がとても整備され走りやすくなりました。今年の2月、河川の問題を考えた、いろいろな活動をしている団体のリレーマラソン大会に参加しました。大会の名前は「BLUE RIVER MARATHON」。～何気なくランニングしているコースもゴミが落ちていたり何らかの汚れがたまっていたりします。特に河川のゴミは、生態系や自然環境への影響が懸念されます。そんな環境問題にフォーカスし、ランニングを通して様々な環境問題を考えるきっかけになれば～という目的の大会でした。河川敷をランニングしていてゴミを見かけるとやはり嫌な気分になるし、このような活動はとても良いなと思いました。大会に出ることでも寄付もでき、仲間と楽しく走ることができるのでとても良いなと思います。今後もこのような大会に仲間と参加し、多摩川がきれいになる活動に参加していきたいと思います。

結果、私は何を自慢したいかということ…きれいな多摩川がある川崎市ということにしておきましょう。(笑)



▲ BLUE RIVER MARATHON



レポート1

第1回全国老人福祉施設大会・研究会議
JSフェスティバルin栃木

令和5年1月26～27日の2日間にわたって、「第1回全国老人福祉施設大会・研究会議」JSフェスティバルin栃木」が開催され、出席しました。

当日は、多くの実践発表や福祉機器展、様々な催しが執り行われ、会場はどこも立ち見がでるほどでした。実践報告では、ICTの活用や認知症対応、ターミナルケアや事故予防など、様々なテーマがありどれも魅力的な内容ばかりでした。特に、ICTや介護ロボットなどの取り組みはどれも今の施設にはなくてはならないテーマが多く、「持ち上げない介護」「ICT活用による多職種連携」など勉強になりました。

また、人材育成など今働いている職員への取り組みも、大変興味を惹かれました。「魅力的な職場」「ライフワークバランス」に取り組む施設が多く、あらためて介護人材の大切さ、10年先に働いていたいと思われる職場を目指し、頑張っていきたい

と思いました。



久しぶりの集合型研修は勉強になりました

トピックス

「子ども食堂」を開催しました

令和5年3月19日(日) 17時30分から19時まで、地域公益活動として第1回子ども食堂を開催しました。

会場は「かふえいろどり」を使用し、法人内の他事業所からも職員がボランティアで協力してくれました。参加者は22名でした。予約して下さった方や、開催している様子を見て、当日参加して下さった方もいらっしゃいました。想定より多くの方にご来場いただいたことで、当日急遽仕込みを増やしました。

メニューは「カレーライス or 牛丼」「新鮮野菜のサラダ」「鮭のムニエル」「リンゴ」「麦茶 or オレンジジュース」を準備しました。ほとんどの方が完食され「おいしい!」「おかわり!」などうれしい声も聞こえてきました。

今年度は6月、9月、12月、3月に子ども食堂を行っていく予定です。開催の詳細が決まりましたら、改めて関係各所にご連絡しますので、今後ともよろしくお願い致します。

◆食材寄付のお願い◆

子ども食堂は、近隣の方や善意銀行などからの寄付食材を中心に、料理を提供しています。賞味期限が切れていない食材や防災食など、ご寄付いただける方は法人本部（博水の郷）03-5491-0340までご連絡ください。よろしくお願い致します。



カレーは大人気でした

レポート2

クラウドファンディング 実施報告



令和5年3月から5月10日まで、博水の郷でクラウドファンディングを行いました。

皆さまのご支援をいただき、無事目標金額の105万円を達成できました。最終金額は116万円となりました。ご利用者の生活に必須な高機能車椅子を7台購入させていただきます。

車椅子は定期的に入替を行っていますが、開設当時からのももの多くあります。できる限り修繕をしながら使用してきましたが、昨今の物価の高騰や生活に必須な機器の修繕もあり、厳しい状況の中、今回クラウドファンディングに取り組むことになりました。

皆さまにご興味を持っていただいたこと、ご協力いただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



社会福祉法人大三島育徳会 特別養護老人ホーム博水の郷



支援総額

1,160,000円

目標金額 1,050,000円

支援者 募集終了日

75人 2023年5月10日

フォローする

プロジェクトは成立しました！

シェア

ツイート

LINEで送る

メールで送る



防火管理の功労表彰

令和5年3月で東京消防庁が開庁75周年を迎え、それに伴う記念式典が行われました。

その中で、当法人の事務局長で博水の郷の防火管理者を務めている川道が、防火管理の功労表彰を受けました。

博水の郷では毎月消火器を使用した防火防災訓練と年1回大規模災害訓練を行っています。

いざという時に、職員全員がご利用者を守る適切な行動をとれるよう、これからも防火、防災訓練を行ってまいります。





◆新人の対面研修を行いました◆

令和5年度は、3年ぶりに数日かけて、対面方式で新人研修を行いました。3日間、各法人の局長、部課長が連携して行いました。法人の理念である「地域に根差した社会福祉の実践」を、少しずつ事業を拡大しながら取り組んできました。各事業所の紹介と地域や各事業所が連携した取り組み、認知症、障害の理解、医療ケア、権利擁護や虐待、身体拘束防止研修、職員としての心得や働きやすい職場を目指しての取り組みなど、盛りだくさんの内容でした。数ある中から当法人を選んでいただいたことに感謝。一緒に楽しく働いていきましょう。



法人寄附について

大三島育徳会は、多くの皆さまから様々な寄附品や寄附金を頂戴しております。数ある法人の中から、当法人を選んで下さったことに、深く感謝申し上げます。いただいた御寄附は、法人運営に活用させていただいています。

◆寄附金のお礼◆

金 50万円：
江原信之様 佐藤ビルディング(株)代表取締役 佐藤賢治様
金 30万円：土屋貴彦様
金 20万円：富張雅則様 吉川玄徳様
金 10万円：
石井和夫様 岡本好正様 鈴木宏忠様 (株)ファミック様
金 9.9万円：中溝邦生様
金 9万円：斎藤令子様
金 6万円：八木治郎様
金 5万円：岡田圭一様
金 3万円：
荒木哲郎様 泉 恒子様 加藤洋子様 鈴木雅之様
網島康雄様 日置富士子様 若尾正之様
金 2万円：田村慶子様
金 1.5万円：本田清隆様
金 1万円：新井慎二様 松原京子様
金 9千円：小西静江様 田家京子様 此島京子様
金 3千円：
岡崎久子様 粕谷健次様 川道英弘様 田原桂一様
中田真子様 野村もみか様 堀口清則様 増森鈴子様
室 清様 室 宏子様 矢野弘枝様 山田隆雄様
匿名希望
金 10万円：2名 金 6万円：2名 金 4.5万円：1名
金 3万円：3名 金 1.5万円：1名 金 1万円：1名
金 9千円：1名 金 6千円：1名 金 3千円：27名

◆寄附品のお礼◆

匿名希望 自動麻雀卓 1台
増澤 徹 小型車いす 1台
匿名希望 ひな人形 1組
匿名希望 オムツ他 1組

令和4年11月～令和5年1月にご依頼した介護ベッド購入への寄附金も含まれております。総額2,445,000円のご寄附を頂戴し、令和5年1月末に介護ベッドを10台購入させていただきました。ご配慮に感謝申し上げます。



貴重なご厚志ありがとうございました。
(令和4年11月～令和5年3月)

編集後記

せせらぎ 第18号

発行所：社会福祉法人 大三島育徳会 情報広報室
発行責任者：田中美佐
〒157-0077 世田谷区鎌田3-16-6
TEL 03-5491-0340 FAX 03-5491-0343
<https://www.oomishima.jp/>

「使用した掲載写真は、ご本人とご家族・関係者の同意を得ております」

新型コロナウイルス感染症が5類に移行しました。街中では、海外旅行者が増え、飲食店がにぎわい、トイレで手洗い後のジェットタオル(エアタオル)の音を久々に聞きました。ショッピングは、非接触の会計機が更に増えているように感じます。

当法人では、3月から1階玄関の喫茶コーナーにて、ご利用者とご家族の直接面会を開始しています。皆さまとても喜ばれています。玉川花火大会も開催されることが決まり、今から楽しみです。ご利用者へのサービスも少しずつ変化して行く予定です。(Y)